【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和3年11月25日(2021.11.25)

【公開番号】特開2021-137067(P2021-137067A)
【公開日】令和3年9月16日(2021.9.16)
【年通号数】公開・登録公報2021-044
【出願番号】特願2020-34510(P2020-34510)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３３４
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０

【手続補正書】
【提出日】令和3年10月15日(2021.10.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
識別情報を表示可能な表示手段と、
当否判定を実行可能な当否判定手段と、
前記当否判定の結果に基づいて前記識別情報の変動表示を実行可能な変動表示実行手段と、
前記当否判定の結果が特定結果となったことに基づいて特別遊技を実行可能な特別遊技実行手段と、
遊技球が入球可能な第１状態と遊技球が入球不能な第２状態とに変化可能な可変入球口と、
前記可変入球口に入球した遊技球が通過可能な第１領域及び第２領域と、
前記可変入球口に遊技球が入球したのを検知可能な入球検知手段と、
前記可変入球口に入球した遊技球が前記第１領域を通過したのを検知可能な第１通過検知手段と、
前記可変入球口に入球した遊技球が前記第２領域を通過したのを検知可能な第２通過検知手段と、を備え、
前記特別遊技は複数のラウンド遊技を含んで構成され、
前記可変入球口は、前記複数のラウンド遊技のうち少なくとも特定ラウンド遊技にて前記第１状態となり、
前記可変入球口に入球した遊技球は前記第１領域又は前記第２領域を通過して排出され、
前記特定ラウンド遊技にて前記可変入球口に入球した遊技球が前記第１領域を通過したことに基づいて所定の特典を付与可能な遊技機であって、
前記入球検知手段、前記第１通過検知手段及び前記第２通過検知手段の検知結果に基づいて、前記可変入球口への入球数と排出数とを比較判定する比較判定手段と、
前記比較判定の結果、前記入球数と前記排出数とが一致しない場合にエラー処理を実行するエラー処理手段と、を備え、
前記エラー処理手段は、前記排出数が前記入球数よりも少ない場合に、前記エラー処理として、前記変動表示及び前記ラウンド遊技を実行不能にするとともに所定の報知部でエ

ラー報知を実行する
　ことを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
　本発明の遊技機は、
　識別情報を表示可能な表示手段と、
　当否判定を実行可能な当否判定手段と、
　前記当否判定の結果に基づいて前記識別情報の変動表示を実行可能な変動表示実行手段と、
　前記当否判定の結果が特定結果となったことに基づいて特別遊技を実行可能な特別遊技実行手段と、
　遊技球が入球可能な第１状態と遊技球が入球不能な第２状態とに変化可能な可変入球口と、
　前記可変入球口に入球した遊技球が通過可能な第１領域及び第２領域と、
　前記可変入球口に遊技球が入球したのを検知可能な入球検知手段と、
　前記可変入球口に入球した遊技球が前記第１領域を通過したのを検知可能な第１通過検知手段と、
　前記可変入球口に入球した遊技球が前記第２領域を通過したのを検知可能な第２通過検知手段と、を備え、
　前記特別遊技は複数のラウンド遊技を含んで構成され、
　前記可変入球口は、前記複数のラウンド遊技のうち少なくとも特定ラウンド遊技にて前記第１状態となり、
　前記可変入球口に入球した遊技球は前記第１領域又は前記第２領域を通過して排出され、
　前記特定ラウンド遊技にて前記可変入球口に入球した遊技球が前記第１領域を通過したことに基づいて所定の特典を付与可能な遊技機であって、
　前記入球検知手段、前記第１通過検知手段及び前記第２通過検知手段の検知結果に基づいて、前記可変入球口への入球数と排出数とを比較判定する比較判定手段と、
　前記比較判定の結果、前記入球数と前記排出数とが一致しない場合にエラー処理を実行するエラー処理手段と、を備え、
　前記エラー処理手段は、前記排出数が前記入球数よりも少ない場合に、前記エラー処理として、前記変動表示及び前記ラウンド遊技を実行不能にするとともに所定の報知部でエラー報知を実行する
　ことを要旨とする。